

# 平成25年度 事業計画

## — 神戸事務所 —

平成25年4月1日より協会は公益社団法人へ移行した。寄付者にとっては税の優遇措置を受けられるようになるため、寄付者の広がり期待されるが、協会の運営は毎年のことながら厳しい状況に置かれている。

里親への委託率が10年後ぐらいには30%へと高められる目標が示され、今後、家庭養護や家庭的養護がこれまで以上に積極的にすすめられていくであろう。里親支援機関も各地域で増え、里親支援専門相談員が配置されるようになる時代に協会としての役割や、活動の方向をどのようにすべきか、新しい法人への移行を機に検討していきたい。

### I 新聞とラジオによる里親を求めるキャンペーン

神戸新聞の月曜日朝刊くらし面「あなたの愛の手を」のコーナー、ラジオ関西の日曜日の番組「里親さがしの時間」（朝6時から5分間）で里子候補児童の紹介を行なう。昨年度は候補児童が少なく、休載が多かったこともあり、申込者の減少ともなった。愛の手コーナーを定期的に継続するべく、努力や工夫をしたい。

### II 里親家庭のための研修・交流等の支援

#### (1) 更新に関する研修

##### 更新研修(講義及び未委託里親への実習)

里親の再認定のための更新研修が5年ごとに行われることが決められており、今年度から更新研修がスタートすることになった。兵庫県と神戸市から委託を受けて協会が以下のような日程で研修を実施する計画。

第1回	25年7月13日(土)	神戸市教育会館
第2回	25年9月7日(土)	宝塚商工会議所
第3回	25年11月	姫路
第4回	26年2月	明石

なお、未委託里親には1日の実習が必要なため、兵庫県の5ヶ所の児童家庭支援センターおよび神戸市の乳児院に配置されている里親支援専門相談員等の協力を得ながら実習を行っていきたい。

#### (2) 里親家庭のための研修

##### (イ)「養子制度の説明会と子育て研修会」

今年度も養子縁組を希望している里親を中心に、普通養子及び特別養子制度の目的、手続き等について研修会を開く。子どもを受託した後、半年から数年ぐらいまでの里親を対象にしており、制度や法律の説明だけでなく、広く養育についての理解を深めるような研修にしたい。

平成26年1月に開催予定

##### (ロ)「真実告知」研修会

里親や養親にとって関心の深い「真実告知」に関する研修会を昨年度と同様今年度も平成26年3月に開催し、里親だけでなく、施設の職員や児童相談所の職員にとっても関心の高いテーマなので、従来通り関係機関にも参加を呼びかけたい。

#### (ハ) 講座の開催

養育上、様々な困難な課題をもつ子どもたちが多くなってきたこともあり、今年も「保育ボランティア養成と家族支援講座」への里親の参加や思春期の子どもを養育中の里親に向けての講座を計画する。

平成25年7月～9月に開催予定

#### (3) 里親家庭の交流やレクレーション活動

##### (イ) 第45回ぼんぼこキャンプの開催

日時 8月16日～8月18日に予定(2泊3日)

場所 「国立曾爾青少年自然の家」(奈良県)

今年は80人程の親子を対象に開催を計画している。

##### (ロ) 新春初笑い大会の開催

毎年1月の第2日曜日に開催している里親家庭相互の交流会で、夏のキャンプとともに、里親家庭が交流し、親睦を深めることのできる機会となっている。今年度は下記の日程で計画している。

日時 平成26年1月12日(日)

場所 神戸市婦人会館 及び周辺

#### (4) 里親子のための子育て支援プログラム「里親サロン」の開催

里親支援事業の一つとして、就学前後の子どもを養育中の里親を対象に、毎月一回、親と子が気軽に集まり子育ての話や情報の交換ができる「里親サロン」を今年も定例に開く。

また小学校中学年以上の子どもを 養育中の里親・養親を対象にした「年長児里親サロン」を、今年は計画したい。

個人やNPO法人からの里親家庭への支援や協力もあり、里親家庭それぞれへの個別のプログラムでも協力していただいております、今後もこうした個人やグループの支援も充実させていきたい。

#### (5) グループぼんぼこの活動

中学生・高校生の里子や養子を中心に、大学生や社会人も加わったグループであるが、今年も新しく中学生となった子どもたちを加えグループづくりをすすめ、夏のキャンプや冬の初笑い大会等の行事を中心に企画をたて、中・高校生の里子やボランティアの育成を行なっていく。

また、成人した養子達にはシンポジウムや研修会などで講師やパネラーとして参加し、協力して下さる人達も出てきているので、今後もぼんぼこのメンバー達の知恵や経験を協会の活動の企画の中にできるだけ生かしていきたい。

### Ⅲ 里親希望者のための研修

#### (1) 認定のための研修

##### (イ) 養育里親基礎研修(講義と実習)

養育里親を希望する人たちを対象に「基礎研修」を年4回、午前10時半～午後3時に次のような日程で開く予定。

講義編は養護児童の現状や里親制度の役割、親と離れて暮らす子どもの気持ちなどについて、パワーポイントやビデオなどを使った1日のプログラムを計画。受講修了者には修了書を交付し、その後施設での半日の実習を行う。

講義の日程 平成25年4月20日(土)、8月28日(水)、10月12日(土)、  
平成26年2月1日(土)

#### (ロ) 養育里親認定前研修(講義と実習)

基礎研修を受講した養育希望者を対象に、2日間の講義と2日間の養育実習を次のような日程で実施する予定。講義と実習の修了者には協会から修了書を交付する。

日 程	平成24年	6月1日(土), 2日(日)	神戸会場
		9月(予定)	姫路会場
		11月30日(土), 12月1日(日)	神戸会場

#### (2) 養子縁組を希望する人への研修

##### 「養子を育てたい人のための講座」

養子縁組を希望する「愛の手運動」への申込者だけでなく、それ以外に養子縁組を希望する人たち、情報を得たいと希望している人を広く市町などの広報紙で募り、年3回の講座を開く。今年度は試みに、1日のみの午前、午後の研修を実施してみたい。プログラムの内容については、検討し直しを考えている。

日 程	平成25年7月6日(土), 20日(土)	神戸
	平成25年11月	日時未定 姫路(予定)
	平成26年2月	日時未定 西宮(予定)

### IV 週末・季節里親の促進事業

#### (1) 季節里親・週末里親の募集と説明会

児童養護施設の入所児童と夏休み、冬休み、また週末等に定期的に交流を続けるボランティアの里親を開拓・育成するため「季節里親・週末里親の募集と説明会」を6月と11月に2回開く。広報のためのチラシや小冊子、パンフレットなども作成する。(NHK歳末助け合い運動義援金助成事業)

日 時	平成25年6月22日(土) および11月9日(土)	午後1時30分～4時
場 所	神戸市総合福祉センター	4階第1研修室

#### (2) ボランティア里親交流会

季節・週末里親の研修と交流会を2年ごとに開いてきたが、今年度は9月に開催予定。

なお、ボランティア里親向けのニュースレターのような通信を工夫し、情報提供を行っていききたい。

### V 専門里親研修

昨年度は専門里親希望者がいなかったため、養育実習が行えなかったが、今年度は専門里親希望者への養育実習を平成26年2月～3月に実施する計画である。

### VI 子育て支援事業

#### (1) 子育てを楽しむ親子講座

里親家庭と一般家庭の交流や親子での共同創作活動の体験を目的に夏休みに親子陶芸教室あるいは親子で創造的な活動ができる他のプログラムも検討し、実施していき

たい。

## **(2) 保育ボランティア養成と家族支援講座**

今年度も協会で保育ボランティアとして活動できる人たちの募集と養成のために、保育ボランティア養成講座を開催する。子育てにも役に立つ内容のものにして、里親家庭、地域の子育て中の家庭にも学習の機会を提供する。

## **(3) 保育ボランティアのコーディネートと一時保育環境の充実**

子育て中の親の学習やグループ活動、里親研修、里親サロンなどを保育つきで提供しており、保育ボランティアのコーディネートを行っている。おもちゃの整理・点検・見直しを行い、安全に気をつけて、保護者に安心してもらえる保育を行っていききたい。

## **(4) 子育てサポートグループ「ぼちぼち」**

子育て中の親が集まり、お互いの悩みを話し合ったり、経験、知恵、方法などを学びあいサポートしあう場として、一時保育をつけて懇談会を開催してきた。今年も引き続き、2ヶ月に1度くらいのペースで開催したい。

## **Ⅶ 里親・養子縁組相談支援事業**

妊娠して出産に不安や迷いで悩んでいる妊婦や家族に対し、カウンセリングを行い、出産しても将来の養育が困難な場合は里親制度や養子縁組の情報を提供し、支援を行う「里親・養子縁組相談事業」を継続して実施する。24年度に作成した2色刷の「子育てサポートカード」を今年度は県下の薬局や医療、福祉、教育機関等にも配布して広報を行っていく。

## **Ⅷ 里親支援機関との連携とサポート**

里親支援専門相談員が施設等に配置され、里親支援機関としての活動が始められるようになってきたが、今後協会の活動の一環として里親支援機関へのサポートを考えていきたい。具体的には支援員からの相談に応じたり、支援員への研修や情報の提供、支援機関相互の連携などを図り、里親の開拓、委託、支援等がより充実したものとなるよう努力したい。

## **Ⅸ 啓発・広報活動**

### **(1) 里親制度をすすめるための講演とシンポジウム**

毎年、神戸市里親会との共催で開催している「里親制度をすすめるための講演とシンポジウム」を10月～11月に計画したい。市民が里親制度をより身近に、具体的に理解できるような講演会を工夫したい。

### **(2) 里親出前講座のコーディネート**

神戸市里親会が里親出前講座を実施するコーディネートを行っているが、昨年できなかった市内の小中学校、中学校のPTAなどに案内を行い、学校への広報を通して里親開拓にも結びつくような形の出前講座を考えてみたい。

### **(3) パンフレットやチラシの作成**

一般向け、里親希望者向け、関係者向け等、対象者別に里親制度や愛の手運動をわかりやすく紹介したパンフレット、チラシ等を作成する。

### **(4) 子どもの日「愛の手キャンペーン」企画**

5月5日こどもの日の神戸新聞紙上で第36回目の愛の手キャンペーンを実施する。

例年、神戸新聞広告賞を受賞し、高い評価を得ているが、今年は積み木で家庭をイメージし、里親制度の広報を行う。

#### (5) 広報用グッズの作成

岡田淳氏の協力で、イラストを使った親しみやすい広報用のメモタグを作成し、配布する。

#### (6) ホームページの充実と新しいメディアの活用

パソコンのインターネット上に協会のホームページを開設しているが、見やすく、協会の情報をよりよく伝えられる構成の工夫をしたい。また、スマートフォンやiPadの普及が見込まれるので、これらの新しいメディアを活用できる広報の方法を検討したい。

#### (7) 講師等の活動

いろんなセミナー、研修会、研究会等に講師や委員として招かれる機会も多く、また、出版企画の編集委員などの依頼もあり、さまざまな機会に里親制度の広報を行っていきたい。

#### (8) 里親ブックレットシリーズの出版

里親として子どもを家庭に迎えるようになってから、学童期、思春期、そして自立へと子どもの成長の段階に応じてそれぞれのステップでどのようなことを考え、関係を作っていけばよいのか、発達と課題をわかりやすくまとめた冊子をシリーズとして作成する。今年度は「子どもを迎えるにあたって」というテーマで、面会から引き取りまでについてまとめたい。共同募金配分金への申請を行う予定。

#### (9) 広報紙の発行

機関紙「はーもにい」を年4回発行予定。今年度は児童文学者の岡田淳氏のイラストを表紙絵として使用予定。

#### (10) 50周年記念事業報告書の作成

里親・養子縁組ソーシャルワーカーとして、またスーパーバイザーとしてニューヨークの民間機関で活動していた尾崎京子さんを神戸に招き、3日間講演会等を開催した記録をまとめて報告書を500部出版予定。

## X 活動資金を得るための活動

(1) 神戸新聞紙上で5月5日のこどもの日に第36回目の広告キャンペーンを実施し、企業、団体、大学等へ協賛を呼びかける。

(2) 次のような他団体主催のバザーへの参加を予定

5月	神戸まつり協賛バザー (5/18)
10月	しあわせの村でのバザー (10/8)
11月	尼崎市民まつりバザー みどり会 (神戸市手をつなぐ育成会主催) バザー
12月	「ギャラリーメトロ」に於いてチャリティバザーとパネル展を開催して5年目になるが、今年も12月に数日間計画する。
26年3月	神戸市重度心身障害児者父母の会バザー (3/2)

(3) 広報と資金を募るため「チャリティ映画会」を開催。

日程 平成26年3月9日(日)  
場所 神戸文化ホール中ホール

# 平成25年度 事業計画

## ◇ 大阪事務所 ◇

### I. 里親開拓運動（愛の手運動）

#### 【里親開拓・広報に関する事業】

平成24年度の間い合わせ数は、前年に比較して約30件増加しているのだが、その大半が低年齢児（特に0歳児）への問い合わせに偏っており、その一方で何度も掲載されている子どもがなかなか決まらず、マッチングは20件にとどまっている。今年度も引き続き里親増強対策を考えていく。

#### (1) ホームページの開設による効果

平成11年3月18日に大阪事務所のホームページを開設し、まる14年が経過した。平成25年4月現在、47万件をこえるアクセスがなされている。インターネットで情報収集をして、協会のホームページを閲覧したり、メール相談をした上で来所する申込者が多い。平成22年度にホームページを全面的に作り替えて、現在は新しいホームページに移行している。新しいページをより見やすいものにしていくこと、検索エンジンで上位に表示されることを目標にしたい。

また、昨年度よりフェイスブックページを開設し、毎日新聞社ホームページの「愛の手」記事欄へリンクを貼ったり、里親制度に関するイベントの広報、日常の協会活動などについて定期的な発信を心がけている。ホームページと併用して、活用していきたい。

#### (2) 他府県の登録済里親への働きかけ

各県の里親研修会や児童相談所職員研修会等に講師として招かれた際には、協会への申込みについての説明や研修の紹介、案内に力を入れている。協会経由で委託をしたことのある全国の児童相談所へは、年に3回の「養子を育てたい夫婦のための連続講座」の案内を送付しており、新規登録里親の紹介に結びつけていきたい。

#### (3) 広報のための企画

里親制度について説明したリーフレットを随時増刷し、大阪府下の行政機関、公共施設、大阪府下に活動拠点を持つNPO団体等、府民に配布する機会のある団体があれば随時発送していく。平成23・24年度に郵便局広告としてカード型のミニチラシを郵便局窓口に掲出したが、今年度は、新たに不妊治療の助成金申請窓口等への設置を検討し、里親開拓及び広報をおこなってきたい。

行政と連携しながらの里親制度周知については、平成20年度に立ち上げた大阪市里親施策推進プロジェクト会議に引き続き参加予定である。そのプロジェクト活動として、平成21年度より始めた、市民ボランティア「里親いろいろ応援団」は5年目となり、協会としても引き続き協力していく。ショッピングモールでの普及啓発イベントや、里親応援フェスタを企画している。また、継続的に新たなメンバーを募集し、応援団員の増強と組織化を図ってきたい。

#### 【児童相談所里親担当者連絡会・学習会の継続】

大阪の子どもを委託している全国の児童相談所の里親担当者の連絡会、学習会をおこなっている。里親制度、養子縁組を進める中での関心事を取り上げながら、それぞれの経験を共有し、里親委託推進に向けての意見交換ができる場にしたいと考えている。今年度は、平成26年2月6日(木)、7日(金)の日程で開催予定である。

#### 【大阪市養育里親の認定前研修・更新研修、専門里親研修の委託について】

児童福祉法の改正により、義務付けされた養育里親の委託前研修のうち、認定前研修の企画、運営を大阪市から平成21年度より委託されており、平成24年度からは、里親制度普及促進事業の委託を受けた中で実施した。今年度も委託事業者として選定され、認定前研修を実施する。平成22年度からは、基本的に府市合同として実施しており、今年度も研修内容をより充実したものにするため努力したい。今年度は新たに、認定から5年目の養育里親向けの更新研修も実施する。

また、専門里親研修については、施設養育実習及び更新研修をおこなう。

### 【週末里親事業について】

大阪市週末里親制度は、7月でまる19年が経過する。週末里親とのマッチング後、親族との関わりができて、親族との面会を並行させながら関わりを継続しているケースや、週末里親として活動を開始後、関わっている子どもの養育里親となることを希望するケースも見られ、子どもの必要性に応じた関わりがなされている。

#### (1) 週末里親懇談会への参加要請と研修会の検討

週末里親懇談会は年に2回、9月と4月の開催を予定している。週末里親対象児の背景や環境が複雑になっている状況があり、週末里親に対しても研修の機会を設けようと、9月の懇談会を研修会として位置づけることにした。昨年度は、児童養護施設を退所した当事者の話を聞き、施設で生活する子どもの気持ちや、退所後の生活について学び、参加者からは有意義な研修会であったという声が多かったので、今年度も懇談会とは別に、研修会の開催を検討していきたい。

また、懇談会への参加里親が固定化されている傾向があるため、懇談会での里親同士、施設職員との意見交流の内容を欠席者に伝えるなどして、参加を呼びかけたい。

昨年度より、新たに週末里親の活動を始める家庭には、活動の心構えや課題を伝える「週末里親のしおり」を手渡して理解を求めてきた。昨年度末にパンフレットとして新しく作り直しており、今年度は新しいものを配付していく。

#### (2) 週末里親制度の説明会開催やチラシ配布による普及の強化

週末里親登録家庭を増やすため、制度についての説明会を今年度も開催する。また、タウン誌への掲載や、各種機関に広報活動への協力の依頼を考えている。

#### (3) 新規週末里子の開拓

週末里親と多く関わっている施設は積極的に対象の子どもを出してくるようになったが、あまり利用していない施設も多い。施設の近隣に登録里親がいるというような具体的な情報を伝え、対象となる子どもの開拓にも努力したい。

## II. 里親・里子の研修と親睦の行事について

### 【里親・養親のための研修】

#### (1) 養子を育てたい夫婦のための連続講座

平成25年6月1日・8日・15日、10月12日・19日・26日、平成26年3月1日・8日・15日の、いずれも連続3週の土曜日開催でおこなう予定である。

講座への受講者は毎回多くなって、定員を超えて受けつけているにも関わらず、具体的な子どもへの申込みにはつながりにくい状況である。申込みへつながっていくようなフォローを今年度も行いたい。講座で出会った受講者同士が、子どもを迎えた後に親子で交流していることも度々聞かれるので、同じ立場のもの同士がつながっていくきっかけとなるようなサポートを考えていきたい。

#### (2) 成長した養子からのメッセージ

養子として育った子どもの話を聞く研修を、今年度も行いたい。開催日未定。

### 【親睦の行事について】

#### (1) ふれあいキャンプ

小学1年生以上の子どもだけのキャンプである。大阪南YMCAの応援を受けておこなう。今年度は8月27日（火）～29日（木）の日程で、「海のキャンプ」として、徳島県のYMCA阿南国際海洋センターで開催する。

#### (2) おやこDEうんどうかい

協会の主催となって15回目を迎える。親子で参加できる競技を毎年考えている。10月下旬、もしくは11月上旬に開催予定。

### (3) J Bクラブ

18年度に始めた里親子の交流の場「J Bクラブ」を、月1回継続して実施する。子どもと一緒に遊ぶ場にし、やがて地域での養親同士のつながりに発展するよう援助したい。引き続き、公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援でおこなう。

夏休み・冬休みなどの長期休み中に、J Bクラブの「OB・OG会」として、小学生以上の親子が集まって交流できる場を企画する。こちらも公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援でおこなう。

### (4) エリカの会

委託時の年齢が幼稚園年長から小学生と、比較的高い年齢で子どもを迎えた養親のための会である。相当困難な親子関係作りと平行して、学校生活も送らねばならず、特有の苦労がある養親同士が相互交流や情報交換できるような場の提供をおこなう。また、今年度から中学生になる子どももいるため、思春期の新たな課題への対応も考えていく。

## Ⅲ. 広報活動の拡大・充実

### 【「あたらしいふれあい」の発行の継続】

社会福祉法人大阪府共同募金会の配分金の助成を受け、毎月1回3500部（うち約3000部を発送）の発行を継続する。血のつながらない親と子が親子関係を構築していく過程や思春期の葛藤等は、血縁親子のよりよい関係にも通じると考えられる。協会が培ってきたノウハウや養親、養子の姿を、分かりやすい形で市民にも伝え、里親制度への理解を深めていきたい。

第3種郵便の適用を受けている関係上、原則として有料でなければならず、個人、購読会員をさらに増強し、安定した発行を目指したい。

### 【「育てる」の発行】

神戸事務所と一緒に機関誌を年1回発行する。個人・団体会員と里親、関係機関、施設、全国の児童相談所に送付する。

### 【各種パンフレットやポスターの作成と配布】

協会活動一般・「会員になってください」・「はじめませんか！里親を」・APCC・週末里親についてのリーフレットは現行のものを随時増刷し、公共機関等にポスター掲示をしたり、チラシを設置したり等、里親制度の広報に努めたい。

### 【ふれあい文庫の改訂・増刷】

平成23年度より、ふれあい文庫シリーズの中の、養子縁組についての解説書である『親子への道標』と、現行の特別養子法の問題点を指摘し、改正を提案する『改正に向けて』を、1冊の本として再編集し、発行する計画を立てていたが、編集に時間がかかり、昨年度も発行には至らなかった。

当初はふれあい文庫シリーズとして発行予定であったが、昨年度、明石書店からの書籍発行の話を進めることができ、今年度には発行予定である。

### 【書籍『少年剣士なつか』の発行】

『少年剣士なつか』は、絵本『たからものはなかに』の作者あいだひさ氏が、自身の養女をモデルにした作品で、小学4年生の少女が、養子である自らのアイデンティティに揺れ動きながらも、家族や周囲との絆を見つめ直す姿が描かれている。

昨年度、作者より相談を受けて、新たに挿絵をつけて編集を進め、今年度、協会の企画により発行する。一般書店では販売せずに、協会での自主販売とインターネット上のAmazonでの販売を予定している。

### 【絵はがきの作製】

広報啓発活動の一環として、養親や養子等のイラストと協会活動を紹介した絵はがきを、社会福祉法人大阪府共同募金会の配分金の助成を受け、作製する予定である。



### 【愛の手街頭キャンペーン】

5月の児童福祉月間と10月の里親月間には、恒例になった大阪駅前での街頭キャンペーンをおこなう予定である。5月16日（木）に大阪曽根崎ライオンズクラブのご協力を得ておこなうことが既に決定しており、例年通りの趣意書を付けた玩具を配布予定。10月の実施日については未定。

## IV. 活動資金の調達とPR活動

### 【会員の増強】

会費は協会の活動資金としてなくてはならないものであり、大阪事務所は、特に個人会員の増強に努力してきた。会員増強のため、年次総会の案内送付時に、里親や関係個人、関係機関にも、会員としての協力を呼びかけたい。書籍発送時には、ミニパンフ「会員になってください」を同封してPRしており、今年も引き続き、同様の形をとる予定である。

### 【寄託者の増強】

今年度より、公益社団法人となり、寄付金について寄付控除が適用されるようになった。寄託者に寄付控除について伝えた上で、新たな寄託者の開拓をおこなっていく。

### 【「ふれあい文庫シリーズ」のPR】

「ふれあい文庫シリーズ」を、協会での研修会開催時や各地の里親研修会等の講演時に、紹介している。ホームページ上でのPRも引き続きおこなっていく。

### 【各種助成金への申請】

各種助成金やライオンズクラブ、ロータリークラブのアクティビティに申し込み、必要な経費の援助を依頼したいと考えている。

### 【今宮戎でのアメ売り】

活動資金の調達としては、なくてはならない活動である。多くのボランティアに支えられ、3日間を乗り切ることができている。飴の仕入れ量が減っているため、福豆やチョコレートなど飴の他に売れるものを検討し、昨年度以上の売り上げを得られるようにしたい。1月9～11日開催。

愛の手運動のチラシを作成し、飴を入れる袋に同封しており、広報活動としての効果も大きい。

## V. 研修活動

### 【職員研修の充実】

ソーシャルワーカーとしての知識や技術の向上のために、各種研修会に可能な限りの参加を考えている。

## VI. 相談事業の充実

### 【愛の手相談室・血のつながりのない親と子のためのホットライン】

里親、養親、継親からの養護相談や養育相談に応じている。思春期を迎えた養子達の問題や、養親子関係上の相談等の他、子どもの成長とともに起こるルーツ探しの相談等、縁組後のアフターケアの相談もある。

06-4304-1085 月～金曜日（祝日除く）11:00～17:00

### 【APCC相談室（思春期妊娠危機センター）】

昭和63年1月に開設し、相談件数はかなり減っているが、行政の相談リーフレット等に掲載されているため、継続していく必要はある。電話相談が中心になっている。今後も妊娠のケースを中心に、相談活動を充実させたい。

06-6761-1115 月～金曜日（祝日除く）10:00～17:00

## Ⅶ. 「ふれあいの家」活動

平成16年3月より、「ふれあいの家」を社会福祉法人そうそうの杜に貸与している。知的障がい者の生活支援のためのグループホームとしての貸与を今年度も継続する。

## Ⅷ. 大阪府里親支援事業

### 【里親希望者等への研修】

#### (1) 基礎研修

講義「子どもの発達」「小児保健医療」「施設で生活する子どもの理解について」と施設見学を里親支援専門相談員配置施設において1日で実施する。

年4回 ①4月27日(土) ②7月23日(火) ③10月22日(火) ④1月25日(土)

#### (2) 認定前研修

・講義、演習については大阪市と合同で、認定前研修Ⅰ・Ⅱを実施する。

年4回 ①5月11日・25日 ②8月10日・31日 ③11月17日・30日 ④2月9日・15日

いずれも土または日

・施設実習については府、市それぞれで実施。

府は里親支援専門相談員配置施設で実施する。具体的な実習方法は24年度と同様、里親と施設の調整は子ども家庭センターが、事務処理は支援機関がおこなう。

#### (3) 専門里親研修

・新規の専門里親認定研修の受講希望者は3名を予定している。

・委託費及び考査代、テキスト代は支援機関で負担。

・専門里親継続研修の実施はない。

#### (4) 養育里親更新研修

・平成26年3月更新者を対象に、大阪市と合同で養育・養子親更新研修を実施する。

平成20年の制度変更に伴う大量認定登録者が対象となっており、今年度は10月以降3～4回の実施を予定している。

### 【相互交流支援事業】

(1) 新規委託里親研修 里親連合会と共催で年1～2回を予定。

#### (2) 課題別研修

今年度は養育里親更新研修やIFCO世界大会があり、課題別研修は日程や内容を絞って開催したい。候補のテーマとしては、「ライフストーリーワーク」や「自立支援」等

#### (3) 里親の相互交流及び地域との交流に対する支援

・夏季里親子研修における子どものレクリエーションの企画と支援

・各支部がおこなう地域との交流事業への支援

(地域でのミニ相談会、出前講座、地域行事での広報啓発等)

### 【週末里親事業の推進】

#### (1) 夏季及び冬季2泊3日里親事業の継続

2泊3日里親事業によって週末里親事業に繋がるケースが増えた(24年度21ケース中13ケース)。今年度も引き続き夏季及び冬季2泊3日里親事業を実施し、家庭生活が必要な子どもの掘り起こしを行いたい。

#### (2) 週末里親懇談会

当事業及び家庭生活体験事業で活動している週末里親が60組近くになった。週末里親活動として

の現状や課題を把握するため、週末里親懇談会を実施する。

(3) 研修への案内

週末里親事業の対象となっている子どもは様々な問題を持っており、登録里親向けの研修にも参加できるようにしたい。

(4) 週末里親候補者への研修

子育て経験のない夫婦や単身者の申込みの場合、事前に子どもとの関わりを経験したいという希望があり、里親支援専門相談員配置施設には協力を依頼したい。

- ・平成21年2月より事業を開始し、年々、候補児童が増えてきている。週末里親希望者との的確で迅速なマッチングを行えるよう、また、マッチング成立後の問題にも適切に対応できるよう、施設、子ども家庭センターと積極的に情報を交換したい。

## Ⅸ. 50周年記念事業検討会

大阪事務所では、平成26年度に50周年を迎える。今年度より「50周年記念事業検討会」を設け、来年度に向けて記念事業の計画、企画準備を進めていく予定である。